

(液化石油ガス法)

(1,000 kg超～3,000 kg未満の容器により供給する場合)

液化石油ガス設備工事届書 書類一覧

- 1 液化石油ガス設備工事届書(様式第48)
- 2 配管工事(新設・変更)台帳(容器用)
- 3 添付資料(液化石油ガス設備工事における技術基準を証明するための資料)
 - (1) 調整器の検査成績書の写し
 - (2) 写真
 - ①設備全体の写真 ②警戒標識の写真
 - (3) 付近の見取図
 - (4) 配置図(保安距離、火気距離、消火器の位置を図示)
 - (5) 配管図

容器 (1,000kgを超える3,000kg未満)用

様式第48 (第88条関係)

(記 載 例)

×整理番号	
×受理年月日	年 月 日

液化石油ガス設備工事届書

令和 〇年 〇月 〇日

大分県知事 殿

氏名又は名称 〇〇〇〇商店
代表者名 〇〇〇〇
住所 大分市〇〇〇〇〇〇〇〇
電話番号 097-〇〇〇-〇〇〇〇

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の3の規定により、次のとおり届け出ます。

工事に係る供給設備又は消費設備の所在地	大分市〇〇〇〇〇〇〇〇
当該設備の所有者又は占有者の氏名又は名称	〇〇〇〇株式会社 (設備の名称: △△△△レストラン)
当該設備の使用目的	厨房 ・ 給湯 ・ 空調 (GHP)
貯蔵設備の貯蔵能力	50kg × 30本 = 1,500kg
工事の内容	新設工事

当該設備の所有者又は占有者を具体的に記載すること。

- (例) ・個人名又は法人名
・公共機関の長(「〇〇〇〇町長」など)

使用目的を具体的に記載すること。

- (例) ・厨房 ・ 給湯 ・ 集合住宅
・空調(GHP)など

工事の内容を具体的に記載すること。

- ・新設工事
- ・変更工事
 - (1)供給管の延長工事
 - (2)貯蔵設備の位置の変更
 - (3)貯蔵能力の増加
〇〇〇kg → 〇〇〇kg

(備考) ×印の項は記載しないこと。

容器 (1,000 kg を超える3,000 kg 未満) 用

配管工事 新設 ・ 変更 台帳 (新設・変更の何れかを消す)

施工年月日		令和 ○○年 ○○月 ○○日		
施工場所		○ ○ ○ ○ ○		
1 工 事 実 施 者	名 称	○○○○商店		
	届出番号	○○ 県 第 ○○○ 号		
	住 所	大分市○○○○○		
	代表者名	○ ○ ○ ○		
	電話番号	097-○○○-○○○○		
	工事従事者	氏 名	設備士免状番号	氏 名
		○○○○	第 ○○○号	第 号
		第 号	第 号	
①	供給設備又は消費設備の設置場所は届書のとおり	見取図(別添)・配置図(別添)		
②	供給設備の技術上の基準に関する事項については別添のとおり ()			
2 調整器	腐食割れ	なし		
	規格	二段式減圧用 (分離型) ・ 一体型)		
			一次側	二次側
		調整圧力	上限 1.56 MPa 下限 0.1 MPa	上限 3.30 KPa 下限 2.55 KPa
		閉塞圧力		3.50 KPa
		耐圧圧力	2.7 MPa	0.3 Mpa
気密性能	1.8 MPa	5.50 Mpa		
3 貯蔵設備 ・調整器	最大消費数量	390 k w		
	貯蔵数量	算式 1,500 k g		
	調整器の容量	算式 50 k g / h		

一体型の場合は、一次側の調整圧力は記載不要

- ①共同住宅の場合
[平均ガス消費量] × [戸数] × [平均ガス消費率]
- ②業務用等の場合
「燃焼器具の設置状況」の合計値
(明らかに同時使用がないものは除く。
但し、その旨を記載すること。)

- ①共同住宅の場合
[最大消費数量] ÷ 14 × 1.1 ÷ [ガス発生能力] × 2系列
- ②業務用等の場合
[最大消費数量] ÷ 14 ÷ [ガス発生能力] × 2系列
- ③その他 ピーク時間 (○時~○時) 記入のこと

[最大消費数量] ÷ 14 × 1

4. 集合装置 ・バルブ ・供給管	腐食割れ	なし	
	腐食防止措置 ・材料	さび止めペイント塗布	
5. 集合装置 ・供給管	耐圧性能	集合装置	供給管
		9.8Mpa (STPG38)	0.98Mpa (SGP)
	引張性能	1キロニュートン (高圧ホース)	
6 気密試験 (実施年月日) 令和 年 月 日			
試験器	1. 自記圧力計	2. 電気式ダイヤフラム式圧力計	3
使用気体の種類	1. 圧縮空気	2. 窒素	3
供給管の種類	A. 二段式減圧用 (一次側調整器と二次側調整器の間の供給管) 0.15MPa以上	B. A以外の供給管 8.4 KPa以上	
試験圧力	0.2 MPa	9.0 KPa	
圧力保持時間	12 分間	25 分間	
漏洩の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
検査実施者氏名	設備士 ○○ ○○	免状番号第 ○○○○号	
7 漏洩試験 (実施年月日) 令和 年 月 日			
試験器	試験圧力		圧力保持時間
自記圧力計	4.0 KPa		25 分
漏洩の有無	バルブ	集合装置	気化装置 供給管
	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・無 有・ <input checked="" type="radio"/> 無
検査実施者氏名	設備士 ○○ ○○	免状番号第 ○○○○号	
8 地下埋設の措置 及び使用材料	1. プラスチック 被覆鋼管	2. ポリエチレン管 ③ 該当なし	
9 不同沈下等のおそれのある場所又建物の基礎面下の設置措置	該当なし		
10 危険標識	該当なし		
11 液化物の排除措置	ドレン抜き (長さ 25 cm、 A)		
12 容器交換時に供給が中断しない設備	自動切替調整器を設置		
13 メーター入口のガス栓	メーター入口にガス栓を設置		
14 安全機器の種類	1. マイコンS・SB (警報器連動 有・無) ②. マイコンII・ <input checked="" type="radio"/> L・C+耐震自動ガス遮断器 3. 警報器連動自動ガス遮断装置+耐震自動ガス遮断器		

規格に見合った材料を記入
STPG(JIS G3454)耐圧性能9.8Mpa
SGP (JIS G3452)耐圧性能0.98Mpa

一体型調整器を使用した場合は左欄の記入は不要

供給開始時に漏えい試験を実施のこと
(ガス器具等の漏えい試験のため)

- ①自然気化の場合
ドレン溜りの部分は当該供給管の最大直径以上の直径であり、且つ長さ20cm以上の管とすること。
- ②気化装置を使用する場合
①の基準においてドレン溜りの部分の容量を5L (一般消費者等の戸数が40戸以下の場合にあっては3L)以上とすること。

2戸以上(ガスメーターを2個以上設置)に供給する場合に必要な
特段の事情があって設置できない場合はその説明を添付する。

15. 燃焼器具の設置状況

合計総消費数量（最大消費数量）＝（ 390 kW）

器具名（消費量）	設置数	総消費量	器具名（消費量）	設置数	総消費量
2口コンロ (9.5 kW)	8台	76 kW	フライヤー (11 kW)	2台	22 kW
グリル付 2口コンロ (kW)	台	kW	(kW)	台	kW
湯沸器 (11 kW)	3台	33 kW	(kW)	台	kW
炊飯器 (4 kW)	6台	24 kW	(kW)	台	kW
風呂釜 (kW)	台	kW	(kW)	台	kW
大型湯沸器 (給湯器) (65 kW)	2台	130 kW	(kW)	台	kW
GHP (35 kW)	3台	105 kW	(kW)	台	kW

kcal/h, kg/h ~ Kwへ換算

①(kcal/h) ÷ 12,000 × 14 = (Kw)
例) 30,000kCal/h ÷ 12,000 × 14 = 35.0Kw

②(kg/h) × 14 = (Kw)
例) 2.5kg/h × 14 = 35.0Kw

16. 消火設備	粉末消火器	能力単位	薬剤量	本数
	20型	A-5・B-12・C	6kg	2本
17. 警戒標	LPガス貯蔵設備 ・ (燃)			設置本数
	火気厳禁 ・ 無断立入禁止			1枚

①性能 : A-4、B-10以上
②本数 : 最大貯蔵量1,000kgにつき1個以上
1,500kg ÷ 1,000kg = 1.5 < 2本

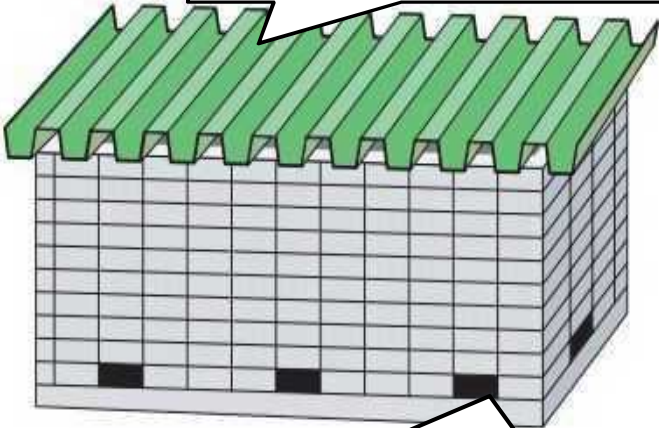
(注)

本例では上記の計算式となるが仮に最大貯蔵量が1,300kgである場合は
1,300kg ÷ 1,000kg = 1.3 < 2本となる。
いずれにしても消火器設置本数は計算値の四捨五入ではなく「切り上げ」とすること。

貯蔵設備の付近見取図

貯蔵設備の名称	貯蔵設備の所在地			
貯蔵能力	kg	法定距離	実測距離	対象物件
第1種保安物件までの距離				
第2種保安物件までの距離				
火気までの距離				

貯蔵設備の構造

面 積	柱の中心と中心 で囲まれた面積	
	有効面積 (内のり面積)	
	最も近い第1種保安物件 (物件の名称) m (最低法定保安物件) 様方 最も近い第2種保安物件 (物件の名称) m (最低法定保安物件) 様方 m	
	屋根組 ~ 屋根材 ~ 遮へい板~	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto 10px auto;"> 不燃性又は難燃性の軽量な屋根を設置 ※材料の指定は例示基準3. 参照 </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p style="margin: 0;">換気口の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪換気口の通風可能面積の合計は床面積1 m²につき300 cm²以上 ※1箇所の換気口の面積は2,400 cm²以下 ▪四方を障壁等で囲まれる場合は、2方向以上に分散して設置 </div>		